

令和2年度 初任者研修に係る校外研修「授業参観」

日時:令和2年10月15日(木)

会場:小中一貫校 佐伯市立蒲江翔南学園

参加者・佐伯管内初任者等40名

佐伯市内の初任者を対象に

新大分スタンダードを踏まえた授業改善について研修を実施しました。

今年度は、午前中に各所属校で事前学習（「新大分スタンダードについて」及び午後から参加する授業の学習指導案）をし、午後から蒲江翔南学園での授業参観及び研究協議という日程で行いました。

参観した授業は、小学校は、増永 真弓教諭による1年生外国語活動
中学校は、高志 徹教諭による3年生理科 でした。



授業参観のあとは、小中別に分かれて授業研究会を行ないました。
はじめに両授業者から、今日の授業について話を聞き、その後、グループごとの授業分析、発表を行いました。
事前学習の「新大分スタンダードについて」の学習から、「めあて」「見通し」「自己存在感」「学び合い」「付けたい力」「評価」・・・など多くのキーワードをもとにした協議がなされていました。



参加者の感想

教科は自分の専門と違うものであったが、授業の導入の仕方、ICTの活用の仕方、話し合い活動の指導など、今後の授業で生かしたいことが多くあり、学ばせてもらった。

支援を必要とする子どもに対する具体的な手立てや、子ども同士の学び合いについて学んだので、これからもっと工夫を重ねていきたい。

まずは、子どもたちが楽しく学ぶということ意識して授業づくりを行いたい。その中で、深める発問だったり、切り返しだったり、学びを深めていきたいと思う。

「子どもの前に明るく笑顔で立つ」ことの大切さを改めて感じた。

単元を見通した授業づくりを行っていきたいと考えた。見通しを持たせたり、分かりやすいゴールを示したりと、授業の組み立てからしっかり行いたい。

同じ悩みをもつ同期の先生方と、授業について、指導について深く話すことができた。他の学校でのことなども情報交換ができた。もっとこういう機会が多くあればと思う。

佐伯市の初任者で集まり研修するのは初めてだったので、とても貴重な経験だった。1つの授業を見て、気付きを共有する中で、色々な視点で見られるのが新鮮で、とても楽しかった。自分の中に新しい視点が生まれたように感じる。